

事務事業評価シート

(H.30)No.	3067	(H.29)No.	3067
-----------	------	-----------	------

事務事業名	木造住宅耐震補強事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	421002
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	木造住宅耐震事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	木造住宅耐震補強事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	1	住宅・住環境
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地震に強いまちづくりを目指します。
事業内容
①耐震設計補助 補強工事の設計費の2/3(上限16万円)を補助②耐震補強工事補助 耐震補強工事費の2/3(上限60万円)+11.5%(上限41.1万円)を補助(住宅耐震診断で評価0.7未満の住宅について、1.0以上にする耐震補強工事が対象)③リフォーム工事補助 リフォーム工事費の1/3(上限20万円)を補助(耐震補強工事と同時にリフォームを行うことが条件)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	耐震設計補助 5件 800千円 耐震補強工事補助 4件 3,675千円 リフォーム工事補助 4件 800千円	耐震設計補助 5件 800千円 耐震補強工事補助 5件 5,055千円 リフォーム工事補助 5件 1,000千円 耐震補強工事説明会 19千円	

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	名張市耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。	名張市耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。	名張市耐震改修促進計画に基づく耐震化率を目標とし、耐震化に努めます。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		5,275千円		6,874千円	6,874千円	6,874千円	6,874千円
内訳(千円)							
国・県支出金		3,875		5,164	5,164	5,164	5,164
地方債							
その他()							
一般財源	0	1,400	0	1,710	1,710	1,710	1,710
人工数							
職員		0.45人		0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	3,330千円	0千円	3,330千円	3,330千円	3,330千円	3,330千円
①+②総事業費	0千円	8,605千円	0千円	10,204千円	10,204千円	10,204千円	10,204千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
国からの予算配分により、県が行なう各市町への配分戸数が年々減少しています。快適で安心して暮らすことのできる住宅整備の促進と、地震に強いまちづくりを進めるため4件の木造住宅耐震補強工事補助を実施しました。引き続き、三重県木造住宅耐震促進協議会と連携しながら事業を推進していきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
予算配分の確保について県に要望するとともに、耐震補強工事の啓発を行い、耐震戸数の増加を目指します。国、県の補助金を活用して自己負担金の軽減を図り、震災に備え木造住宅耐震補強事業に継続して取り組みます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市耐震改修促進計画